

第2節 社会的条件

第1 沿革

本町は、大阪と京都の中間、淀川の右岸側にあり面積は16.78km²、古来より淀川の水運と西国街道によって発展した地域である。明治22年の町村制の施行により、7ヵ村が合併し島本村が誕生、昭和15年には町制を施行した。昭和30年代以降は高度経済成長を背景に、住宅都市として発展している。

第2 人口等

本町の人口・世帯数は、平成12年国勢調査によると30,125人、10,673世帯である。人口の推移を見ると、町制が施行された昭和15年の人口は、6,056人であったが、昭和40年には12,939人、昭和50年には22,404人、昭和60年29,549人と急増した。以降は微増ないし横ばい傾向にあり、平成17年4月1日現在29,554人である。

第3 地域構造等

1 都市構造

本町は、全域が都市計画区域に指定され、そのうち市街化区域は337ha、20.1%、市街化調整区域は1,341ha、79.9%となっており、市街化区域に全人口の大半が居住している。交通の利便さもあって京阪両都の住宅都市として発展している。

2 交通網

本町の道路網は、淀川沿いの国道171号を幹線道路として、府道桜井駅跡線、府道西京高槻線、府道柳谷島本線、府道伏見柳谷高槻線等により主要な道路網が形成されている。また、市街地と山地部の境界付近を名神高速道路が通っている。

鉄道は、JR東海道本線、阪急京都線、東海道新幹線の3線が通っており、いずれも町域の平坦地を横断している。このうち阪急京都線は水無瀬駅が位置し、本町の交通拠点となっている。

第2章 計画の前提条件

主要な道路網図（高速道路、国道、府道）

